

国語科学習指導案

平成30年8月30日(木) 第1校時 3年B組
授業学級 3年B組(39名)
授業者
指導教諭

1 単元名 「握手」

2 主眼

握手や指言葉がどんなときに登場しているか考える場面で、握手や指言葉がどんな場面での誰の行為が整理することを通して、握手や指言葉の登場が心情の表れと結び付いていることに気付くことができる。

3 本時の位置 (全5時間中 第2時)

前時：握手と指言葉がキーワードであることに気付く。

次時：タイトルは「握手」が最もふさわしいのか個人で考える。

4 本時の評価規準

・握手や指言葉の登場が心情の表れと結び付いていることに気付いている。

5 展開

階	学習活動	予想される生徒の反応 (太字はキーワード)	◇教師の指導・援助	罫	備考
導入	1 本時の見通しを立てる。	ア 本文には言葉と写真を照らし合わせると指を打ちつけているからルロイ修道士の危険信号だと思う。 学習問題：握手や指言葉はどんな使われ方をしているだろうか。	◇握手やルロイ修道士の指言葉に表情もつけた画像を提示し、登場場面について尋ねる。	5分	PC HDMI
		イ 握手や指言葉が登場する場面を抜き出して誰の誰に対しての行為が整理して使われている場面の共通点を探す。 学習課題：握手や指言葉がどんな場面での誰の行為が整理しよう。	◇たくさん出てくるキーワードのことを考えるにはどうやって読んだらいいのか尋ねる。	5分	ワークシート
	2 登場場面を整理する。	ウ 握手は二人の出会いと再会と別れの節目となる場面の三回しか登場していない。 エ 指言葉は天使園での事を回想する場面で大くさん登場している。 オ 指言葉は何か言葉を言う代わりの合図として使われている。 カ 握手は初めの二回がルロイ修道士からわたしで最後の一回はわたしからルロイ修道士に向かったの行為だった。 キ 指文字はほとんどがルロイ修道士の行動であった。 ク 上川君やわたしが真似をして指文字を使う時もあった。	◇本文の握手や指言葉の登場場面に傍線を引くように促す。 ◇傍線の記入ができたところで近くの人と共有し見落としていない場面がないか確認する。 ◇登場場面を押さえたところでそれらが登場した順番に何ページの何行目か場面冒頭部を抜き出しながら誰から誰への行為が明らかにしてワークシートに記入するよう促す。 ◇全体で確認する場を設定する。	25分	フ ラ ッ シ ュ カ ー ド
展開	3 学習問題に対する答えを出す。	ケ 指言葉はルロイ修道士が使うことが多く感情を表したい場面に使われていると思った。 コ わたしからルロイ修道士に対しては少ないが使われていてその時も気持ちを表すために使われていると思う。 本時の評価規準に達していない生徒への手だて ・登場場面と一緒に確認しながら本文の記述を頼りに誰の行為が整理する。	◇登場場面を整理してみてどのような使われ方をしていると考えられるか学習問題に対しての答えを個人で考え全体で共有する。	10分	
	4 本時を振り返る。	シ 心情に深く関わっている指言葉や握手はやはりこの物語のキーワードになっていると思った。指言葉と握手が表すものに違いはあるのだろうか。	◇本時の活動を通して感じたことや学んだことをワークシートに書き、全体で共有する場を設定する。	5分	
終末					

6 反省